

令和8年度 AI を活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業  
業務委託プロポーザル方式募集要領等に関する回答書

令和8年4月10日

福島県教育庁義務教育課長

業務名	令和8年度 AI を活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業業務委託		
質問No.	質問該当箇所	質問事項	回答事項
1	仕様書2(2)「機能要件」 ②書くことに関する機能要件 イ 学習評価機能	「コメントを生徒に示すことができる」について、「教師が自ら任意の文章を記述・入力して配信すること」を必須要件としているのでしょうか。	「教師の任意の文章を記述・入力できる」ことを必須要件とはしていませんが、この要件は、AI のフィードバックを評価の一助として活用しつつ、最終的には教師が個々の生徒の状況に応じたきめ細かな指導や評価（内容面の指導など）を行うことができる環境の構築を目的としております。
2	研究テーマ	本事業の公募の前提となっている文部科学省「令和7年度 AI を活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業」において、貴県が重点的に取り組むものとして選択された「研究テーマ」を具体的にお教えいただけますでしょうか。	本県（義務教育課）の研究テーマは、「①AI 活用による教師の指導力の向上」について、教員がこれまで一人で担ってきた「個別添削」と「発音指導」の役割の一部を AI が補完することで、教員の指導を「評価・添削」から「個々の思考支援・ファシリテーション」へと高度化させること、「②児童生徒の自己調整学習への活用」について、「何を書いてよいか分からない」という思考の停滞や、無回答率の高さという課題に対し、AI を使って自分の考えを可視化し、人との対話の前に事前練習を行うことで、書くことと話すことの両方に自信をもてるようにすることです。

3		<p>「Ⅱ取組の波及（中高連携）」について、以下の2点をご教示ください。</p> <p>1. 高校側で使用する AI ツールについて：高校のモデル校では「AI プロンプトの研究」を行うとありますが、これは汎用型生成 AI の利用を想定されているのでしょうか。あるいは、中学校と同様の生成 AI サービスを併用する計画があるのでしょうか。</p> <p>2. 具体的な連携イメージについて：中学校の教員が高校の事例を学ぶだけでなく、中学校での本アプリ活用成果を高校側へフィードバックしたり、共通のプロンプトを用いて中高一貫した指導モデルを作成したりするような、双方向の連携を期待されていますか。</p>	<p>1. 高校のモデル校で使用する AI ツールについては、汎用型生成 AI (Gemini) と、高校専用の AI 学習アプリの2種類を併用する計画となっています。</p> <p>中学校についても、AI アプリと汎用型生成 AI を併用しつつ、研究を進める計画です。</p> <p>2. 中高の連携については、本県が全県的に活用している Google Workspace (Gemini) を共通のプラットフォームとして想定しています。汎用型生成 AI を活用した「効果的なプロンプト（指示文）」の研究成果や、AI アプリによる個別最適化された学習ログの分析知見を中高で互いにフィードバックし、校種を越えた指導改善に繋げることを期待しています。</p> <p>御提供されるアプリが、英語の正確性の習得や成功体験の創出にどのように寄与し、共通基盤である Gemini とどう連動して学びを繋ぐことができるか、企画提案書にて御提案ください。</p>
4		<p>業務スケジュールにある「第1回・第2回英語力測定」について、受託者が分析結果を作成するにあたり、以下の点をご教示ください。</p> <p>1. 実施されるテストの種類：県または学校で実施されるのは、外部検定試験（英検、GTEC、ESAT-J</p>	<p>1. 外部検定試験を計画しております。</p>

		<p>等) でしょうか。あるいは、教科書に準拠した定期考査やパフォーマンステストの結果でしょうか。</p> <p>2. 提供されるデータの形式と項目：受託者にはどのようなデータが提供されますか（例：4 技能別のスコア、素点、回答内容のテキストデータ等）。また、データは CSV 等の加工可能な形式で提供いただけますでしょうか。</p>	<p>2. 英語力測定結果については、生徒個別・学年別の「話すこと」、「書くこと」の2技能を測定します。データの提供方法について、形式等は未定となります。</p>
--	--	---	---

(注) 質問に対する回答は、別途、福島県教育庁義務教育課で閲覧に供する。